



子どもたち 先生方の笑顔のために

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和5年11月1日発行

第16号

中信教育事務所

ご意見はこちら→ ←過去の「共に歩まん」はこちら

共に
学ぶ

学びの改革パイオニア校の取組の紹介

大町市立
大町中学校

小中学校の教育課程連携へ

小中学校の先生が授業づくりについて共に学び、9年間の子供の育ちを支える

小中が連携して国語、算数・数学を重点教科とし、児童生徒の「学び方」「問い」「評価」について小中の教師が共に研修を積み重ねています。

大町中学校を拠点校とし、大町北小学校、大町東小学校、大町西小学校、大町南小学校が連携しています。

各小中学校の研究を促進するために、「大町市カリキュラム・マネジメント推進委員会」を設置しています。

大町中学校に「研究推進主任教諭」をおき、今年度は大町西小学校へ赴き、小学5、6年生の授業づくりに関わるとともに、算数の1単元を研究推進主任教諭が授業をしています。その際、小学校の先生方と共に単元構想を行い、10月11日には、連携している他の小学校の先生方に授業を公開し、30名ほどの先生方が授業を参観されました。実際の授業を通して、他校の先生方が集い、学び合う場を設けています。

推進委員会の委員は、連携する各小中学校からミドルリーダー2～5名が担い、運営しています。委員会では、カリキュラムづくりや授業づくりについて研修・計画し、委員が自校へ研究内容の伝達及び普及に努めています。尚委員は大町市教育委員会が職務を委嘱しています。10月17日には、大町中学校区の自主的な取り組みとして各小中学校の先生方が大町中学校体育館に集い、小グループに分かれて、互いに持ち寄った成果物（児童生徒の作品、板書写真、実際に授業で使ったスライドなど）を示しながら、授業の手ごたえや授業をしてみてもの振り返りなどを共有し合いました。今後は、中学校の授業を公開し、研究をさらに深めていきます。今後の取組も楽しみです。



松本市立 田川小学校
開智小学校
丸ノ内中学校

「探究」を中核とした 校種を越えた取り組み

子供の「知りたい」、「やってみよう」から始まる 生活科や総合的な学習の時間

今年度より、3校は生活科や総合的な学習の時間を中核活動とし、「探究」する学びに挑戦しています。そこで、軽井沢風越学園のスタッフを招き、各校の探究コーディネーターの先生方が研修を行い、その内容を自校に持ち帰って広めています。また、「チューニング」という手法を用いて先生方の願う子供の姿や悩みを共有し、今後の展望へとつなげることができるようにしています。

【3校の中核活動について】

- 田川小学校 対象を見つめる子供の姿から学び、教師の省察を足場に、探究の学びを推進
- 開智小学校 150周年記念の節目を生かした学年・学級総合（藍染による150周年記念の旗づくりなど）
- 丸ノ内中学校 学級の枠をなくし、テーマごとに取り組む、1日総合の実施（食グループ、環境グループなど）

小中連携で「探究」をコーディネート

8月21日午後、丸ノ内中学校の図書館では、職員研修として小学校の先生や風越学園のスタッフを交えての「チューニング」が行われました。

発表者の2年生の先生が、2学期以降の総合的な学習の時間の活動について、子供たちの現在の姿や思い、担任としての願う姿や構想をグループの先生方に伝え、悩みや願いを共有したりアイデアを出し合ったりしました。



研修に参加した小学校の先生からは「中学校では調査結果について統計を活用しようとしている。これは、小学校でも必要な視点ではないか」といった声が挙がりました。また、中学校の先生からは、「小学校での取り組みをヒントにしたり、発展させたりする視点から、単元づくりや授業づくりに取り組んでみたい」といった声が挙がりました。このような取組を通して、多様な視点や長い時間軸の中で子供を捉え、その「知りたい」や「やってみよう」という思いをつなぎながら、「探究」する学びに向かおうとする先生方の姿がありました。小学校でも同様の「チューニング」が行われています。校種を超えたつながりが生まれている丸ノ内中学校区の「探究」を中核とした活動。どのように発展していくか楽しみです。